

芸術 表現行動

ダンスと
コンピュータ

中村 美奈子 / NAKAMURA, Minako

文化科学系 / 文教育学部芸術・表現行動学科

<http://www.li.ocha.ac.jp/geijutsu/buyou/nakamura.html>

■ 研究者情報

連絡先

E-mail: nakamura.minako@ocha.ac.jp

専門分野

民族舞踊学、舞踊記譜法、ダンスとテクノロジー

専門はバリ舞踊(インドネシア)です。授業で実技も教えています。

■ 研究成果情報

民族舞踊の分析方法の研究 — 文理融合の視点から

キーワード

ダンスとコンピュータ Labanotation、舞踊人類学 MotionCapture

研究内容

■ 概要 (背景・目的・内容)

舞踊を「身体文化」ととらえ、舞踊記譜法(Labanotation)を用いて民族舞踊の舞踊動作と舞踊構造の分析を人文学とコンピュータサイエンスの両面から行っています。

WorldDance(世界の民族舞踊)の研究と教育がお茶大でできるようになるといいなあと思います。(写真は本人です)



今の技術では、バリ舞踊の指の動きも計測できるのです!

日本の民俗芸能のMotionCapture計測を比較日本学シンポジウムにてデモ(2005年)



身体運動の記述法として、ロボティクスの専門家も注目しています。現在、MAYAなどのCGソフトを使って舞踊譜をCGのダンサーに再演させる研究をしています(2011年よりはじめました)

リアルタイムで手前の踊り手の動きを後ろの画面に映しています。立命館大学の客員研究員として毎年参加している「モーションキャプチャシンポジウム」も2012年1月で10年目となりました!

特許・著作物等の知財情報、製品化情報、あるいは社会貢献実績

* 中村美奈子:「インドネシア・バリ島の舞踊の動作分析—文理融合型の民族舞踊研究の視点から—」、『舞踊学の現在—芸術・民族・教育からのアプローチ』, 遠藤保子ほか(編著), 文理閣, pp.178—191, 2011年3月(分担執筆)

* アフガニスタンの指導的女子教育のための女子体育教育教材「体ほぐし」ビデオの制作監修, 2000年2月発行(五女子大学コンソーシアム事業)

産学官・社会連携の可能性

■ 共同研究/技術提供/知見の教授・共有(公開講座、ワークショップ等の実施/出版/その他)

* 東京藝術大学音楽学部楽理科で音楽研究をしていた経験から、舞踊学における舞踊の記譜法を用いた研究(舞踊のテキスト研究)という分野を日本の舞踊研究の中でも確立していきたいと考えています。譜面を用いた舞踊研究というのは、楽譜を用いた音楽研究ほどは、まだ確立していないからです。子供のころから踊り(舞踊譜)を「読む」という経験をすると、もっと舞踊表現の幅が広がるのではないかと(学校教育への応用)とか、舞踊譜を介してロボットと人間が同じ振付を踊ったりできるのではないかなどと考えています。Wiiなどの身体運動を伴うゲームも増えてきましたので、とりあえずは、舞踊譜の指示通りに踊って見本を見せてくれるCG教材を開発して、舞踊譜を身近なものにしたいと思っています。